

# 快適にもっと住みやすく

## 住んでいる自宅が対象

久留米市は、自宅を改修する費用の一部を補助します。対象は、ガラスやドアの交換、高断熱浴槽の設置などの省エネ工事や、手すりの設置や段差の解消といったバリアフリー工事です。市内に本・支店がある事業者や個人事業者の施工に限りません。補助額は、対象工事費の50%で10万円が上限。改修することで、冷暖房費の削減、防音効果、高齢者の転倒予防など、

快適な住まい環境を実現することができます。

## 空き家なら最大30万円

一年以上空き家になっている戸建て住宅を、自分が住むために改修するときは、対象工事費の50%で30万円を上限に補助します。住んでから3ヵ月以内や、3親等以内の親族が所有する空き家も対象になります。

いずれの工事も着工前に申請してください。予算額に限りがあります。申し込みは4月22日

## 補助の対象

- ・市内に本・支店がある事業者や、市内の個人事業者が行う工事
- ・対象工事費が、税別10万円以上
- ・店舗などの併用住宅の場合は、居住部分が対象など

## 工事の内容

### 【省エネ】

- ・開口部の断熱改修（内窓設置、外窓・ガラス・ドアの交換）
- ・天井、床、壁の断熱改修
- ・高断熱浴槽の設置

### 【バリアフリー】

- ・手すりの設置
- ・段差の解消
- ・廊下幅などの拡張
- ・床材などの変更
- ・扉を引き戸や折り戸などに交換
- ・和式便器を洋式に交換
- ・またぎの低い浴槽への取り換え

### 【空き家リフォームのみ】

- ・耐久性を向上させる屋根や外壁の改修
- ・間取りの変更
- ・節水型トイレの設置

※から。詳しくは、問い合わせ先や市ホームページで確認してください。

◎住宅政策課 ☎0942・30・9139、FAX0942・30・9743

市ホームページ  
「住まいに関する助成について」  
詳しくはQRコード



市ホームページ  
「空き家活用リフォーム助成事業補助金」  
詳しくはQRコード



# 副市長続投 教育長に井上氏

## 森望氏が再任

令和2年第1回市議会に提出された人事議案が、3月26日に承認されました。国土交通省からの派遣で、平成28年7月から副市長を務めた森氏は、3月31日付けで同省を退職。再選任が同意され、4月2日付けで副市長に就任しました。

平成29年4月に教育長に就任

した大津秀明氏の任期満了に伴い前教育部長の井上謙介氏が、4月1日付けで教育長に就任しました。

◎人事厚生課 ☎0942・30・9056、FAX0942・30・9706



### 【井上謙介教育長】

昭和60（1985）年に久留米市役所入所。市民活動振興室コミュニティ推進主幹、市民活動振興室長、都市建設部次長、総務部契約監理担当部長、協働推進部長、教育部長を歴任。59歳。

### 【森望副市長】

昭和59（1984）年に建設省入省。国土交通省国土技術政策総合研究所道路交通研究部長、国立研究開発法人土木研究所研究調整監、久留米市副市長を歴任。60歳。

市ホームページ「特別職の就任のお知らせ」  
詳しくはQRコード



# 食で居場所づくり

## 手作りを味わって

久留米市は、子ども食堂を運営する市民活動団体などに活動費の一部を補助します。経済的・時間的な理由で、家で食事が十分に取れない子どもたちや、一人で食事をする子どもたちがいます。子ども食堂は、地域の子どもたちが安心して集まり、食事を取ったり、地域の人と交流したりする場です。

対象は、食材費、食器代、会場使用料などの運営費と、大型冷蔵庫や炊飯器などを購入する施設整備費です。補助額は開催する時間や食事の回数などによって異なります。詳しくは、問い合わせ先や市ホームページで確認してください。

◎子ども政策課 ☎0942・30・9227、FAX0942・30・9718

市ホームページ「子育て支援事業」へ  
詳しくはQRコード



対象	基準額	申込締切
子ども食堂	20食以上 月1回10万円 月2回20万円 月3回以上30万円	来年2月15日(月)
朝ごはん子ども食堂	10食以上20食未満 月1回5万円 20食以上 月1回10万円 月2回20万円 月3回以上30万円	
夏休み等子ども食堂 長期休業期間中に5回以上開催	20食以上	7月17日(金)
大型冷蔵庫、炊飯器などの機材	20万円	来年2月15日(月)

# 市民活動に参加したい人が年々増加

## 住みやすさ7年連続8割超

久留米市は、市民の皆さんの意見を聞き、市政に反映させる市民意識調査を毎年行っています。令和元年度は、市内に住む18歳以上の5000人を無作為に選び、「住みやすさ」、「運動・スポーツの習慣」、「小児医療体制・かかりつけ医」、「地域福祉」、「ごみ減量とリサイクル」をテーマに調査をしました。久留米を「住みやすい」と感じる人は、88.4%で昨年度より6.4ポイント増加。7年連続で8割を超えています。理由は、「自然環境の豊かさ」、「新鮮な農作物やおいしい食べ物の豊富さ」、「医療や福祉の充実」が挙げられました。

## 医療体制の充実が高評価

地域を良くするために、校区コミュニティ活動や自治会活動などに参加したいと思っている人は57.9%でした。平成29年度は48.1%、30年度は53.4%と年々増加。また、「小児医療体制の充実が高評価」と回答した人が81.9%、「かかりつけ医がいる」と回答した人が62.9%です。詳しい調査結果と分析は、市政運営の基礎データとして活用していきます。

◎広聴・相談課 ☎0942・30・9015、FAX0942・30・9711

市ホームページ「市民意識調査」へ  
詳しくはQRコード



## 皆さんの声をご意見箱へ

市民の皆さんからの意見を市政に生かすために、「ご意見箱」を本庁舎1階の総合案内や各総合支所、各市民センターに置いています。まちづくりへの意見や提案などを書いて投函してください。市ホームページでも受け付けています。



その場で記入しご意見箱へ



報告書は、本庁舎行政資料コーナーや各総合支所地域振興課、各市民センター、市ホームページで見ることができます。